7月10日 日曜日 9日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646

THE NAIGAI TIMES
第3152号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認新聞紙第232号)

天気予報
今晩 北の風曇一時俄雨。
明日 北のち南の風曇、日中晴間あり夕刻俄雨。

あすの暦 7月10日・日 旧5月21日
日出 4.33 日入 6.59 月出 前 9.41 月入 後 9.09 満潮 前 7.40 後 8.55 干潮 前 2.00 後 2.15 (中潮)

米価ようやく本決り
石当り 一万百六十円
閣議、首相の裁断了承

(上)鳩山首相 (中)河野農相 (下)一万田蔵相

鳩山首相は九日午前十時半院内大臣室に一万田蔵相、河野農相を招き、三十年産米の価格につき石当り一万百六十円、減税百円の裁断を下し、両相もこれを了承した。よって政府は同十時四十分から臨時閣議を開き、首相裁断どおり一万百六十円の米価を正式に決めた。

これに先だち同日午前十時十分 岸幹事長、根本官房長官は一万田、河野両相と最終的意見調整をはかり、まず一万田蔵相、藤枝大蔵政務次官、原主計局次長、平田国税庁長官と、引続き河野農相と会ってようやく双方の意見を一致させた。よって岸幹事長、根本官房長官は直ちに院内大臣室で鳩山首相にこれを報告、首相が一万田、河野両相を招いて最終裁断を下すに至ったものである。

統制の撤廃へ
食管制度を根本的に再検討

しかし食管制度の根本的再検討に関しては三十一年産米から自由販売制度とすべき意見が述べられたが、松村文相、三木運輸相らから異論が出されたため、政府としては予約買付制度の実施と重大な関係をもつ食管制度を根本的に再検討するとの方針をとることとなった。

食管制度の検討については予約集荷の方法がいたずらに米価のつり上げに終り、食管制度の行詰りを生ずる可能性があるとして、この根本的検討を行うわけで、一応統制撤廃を含みとして今後農林省を中心に検討を進め、随時経済閣僚懇談会や政府・党の連絡会議を開いて結論を出すことになった。

速かに再検討 一万田蔵相談

一万田蔵相は九日の臨時閣議後の記者会見で次のように語った

予約集荷を促進するため百円の減税を認めることになった。米価が決った以上、とやかくいいたくない。農民諸君の協力を得て、少しでも多く集荷できることを期待する。米価決定を通じて食糧政策もこのままではいけないことを痛感した。食管制度は再検討することになろう。

米審答申を基礎に決定 河野農相談

河野農相は九日の臨時閣議終了後、三十年産米価についてつぎの談話を発表した。

今回の米価決定はかねて農業団体等から生産費を基準とする方式をとるよう強い要望があり、米価審議会でもバ[illegible]八割に該当する農家の[illegible]低として算定すべきだ[illegible]あった。政府としてこ[illegible]旨は今後とも十分尊重[illegible]

"失われた妙味" 予約集荷制の
楠見氏 新米価に不満表明

全国農業会議所事務局長楠見義男氏は米価の正式決定について次のように語った。

予約集荷制の魅力は前渡金と予約奨励金と免税の三点であったところが前渡金は政府の[illegible]遅れて時期を失してし[illegible]金も僅か百円では期待[illegible]り、免税を受けるのは[illegible]農家にすぎない、この[illegible]荷制の魅力はほとんど[illegible]わけで、予約制度には[illegible]

美と力の幻想

[illegible](ニューヨーク発UP=サン)

巨頭会談 準備の総仕上げ
西欧四国 専門家会議開く

【パリ八日発ロイター=共同】十八日からジュネーブで開かれる四国巨頭会談の準備[illegible]米英仏および西独の四国専門家会議が八日仏外務省で開始された[illegible]外務省政治局次長、西独はブランケンホルン[illegible]チェンズ・ド・クルーイシャネル[illegible]務は巨頭会談に提出する西欧側のハッキリした計画を起草すること[illegible]はこれについて次のように述べた。[illegible]

[illegible]が、九日朝の列車で上海方面に向った。香港着は二十日の予定。

南原、大内両氏首相訪問

ソ連の[illegible]技術視察を行い、六月末帰国した東大学長南原繁、法大学長大内兵衛両氏は九日午前九時半院内に鳩山首相を訪問、帰国のあいさつを述べ懇談した。

売春法案の審議を続行 衆院法務委

衆院法務委員会は午前十一時開会、花村法相、松村文相、川崎厚相、西田労働相、石[illegible]長官、江口警視総監らの出席を求めて売春等処罰法案の審議を続けた。花村法相は猪俣浩三氏(社)の質問に答え「本法案が成立した場合、外人に対する取締りも日本人同様厳正に行いたい」さらに猪俣氏が「業者が反対運動のため多額の金をバラまいているといわれるが事実か」と質問したのに対し「業者の運動は関知しない。少くとも委員会では陳情も受けていないし、もちろん金がバラマカレているという話は聞いていないが、もしそういう事実があれば処断する」と答えた。

[illegible]の成否は統制の存廃問題[illegible]くものであり、食糧政策[illegible]外依存の方向に切換えら[illegible]している折柄、農業団体[illegible]んとしても予約申込み[illegible]はかはないが、新米価と[illegible]は二千三百万石以上の[illegible]るのはむずかしいよう[illegible]

[illegible]、ただ本年産米の政府買入れ決定について算出の結果[illegible]ま採用することは適当で[illegible]他の方式で算定した結[illegible]し合せて決めたものであ[illegible]

政界春秋
黒雲二点、横流す
木村儀兵衛

この頃政界に[illegible]ヨキニョキ[illegible]立つ一つは吉田[illegible]大磯派、この一[illegible]最初から現内閣[illegible]なく、いわゆる[illegible]よって、特別国会で妥協し、予算を通した以上は、鳩山首相に半年でも、一年でも[illegible]けやらせれば[illegible]ぎに緒方竹虎が[illegible]などと、甘い夢[illegible]違いで、越中褌で[illegible]れる。大野伴睦[illegible]人間でなく、三木武吉、河野と大野の三人は、一つのものだ。民、自政策推進なら三月でも半年でもかかってやりやればよい」と不貞腐る。現に初回の両派顔合せ大磯派のカチカチ小坂善[illegible]「政策はなるべくユック[illegible]う」と提唱し、周東英雄[illegible]声援を送っている位だ。[illegible]一つは保守合同達成の暁[illegible]鳩山は即時引退、緒方首班[illegible]打ち割っていえば、総[illegible]竹虎、副総理大野伴睦、[illegible]三木武吉、幹事長河野一郎[illegible]で押進む。副総理、副総裁を可分とすれば、なお副総裁をアメリカにやろうではないか」というと 岸は「それはいい、二人で進言しようか」と答えたという伝説さえある。鳩山がアノ体で外遊できる筈もないが"鳩山代理でオマエさんが行け"というワナがかけられているだろう。

三木、河野の腹中ではないのか。三木、河野らは世にも珍らしいやり手ではあろうが、手に立つ相手の"斬り殺し"もやりかねない。覇道、権道をのみ歩くクセあり、自己が必要とするところ"熊野権現"の神文、誓書をも恐れずに焼捨てるフテブテしさがある。世の中は金力、権力のみでは役立たぬ面のあることを知るべきだ。先ず世を恐れおののくことから出発し、謙虚にならねば、大願成り難きを知るべき"難関"にブツかるだろう。"はてこの怪しげな入道雲"の行方や如何に。(文中すべて敬称略)

[illegible]属殺しもやりかねない。斬って捨てろ"という三木、河野の腹[illegible]

三木や河野が、右手で鳩山を横抱きにノド輪を絞め、左手で緒方を押し上げんとする努力はほぼ成功に近く、緒方も彼らを"憎からず"思い出したと同時に、三木、河野の二人が、民主党内の比重を加えたことは事実だろう。三木は岸信介に「鳩山岸も政治家として次第に大物的比重を加え、かつ実績も認められるが、何としても処女性があり、三木、河野らのシタタカ者から見れば、赤子の手をひねるようなものだ。池田勇人、佐藤栄作らをだき抱えようという岸の腹だが"池田、佐藤など尊[illegible]

鉄鋼関係は九月調印か 世銀の対日借款

【ワシントン八日発=共同】昨年の吉田訪米以来懸案となっている世界銀行の対日借款六千万ドルは、依然具体化するにいたっていないが、世銀関係筋は八日見通しについて次のように言明した。

一、鉄鋼借款が一番早くまとまる見通しで、とくに八幡製鉄、日本鋼管向けは世銀事務当局を一応通過し最終的検討の段階にある。順調に進めば九月までに調印されるであろう。川崎製鉄、富士製鉄向けは遅れるようだ。

一、農業借款中一千万ドルの愛知用水向けは下準備が予想外に手間取っており、調印が遅れるかもしれない。そのほか機械開墾は立地条件調査のため世銀調査員二名がこのほど日本に向ったが、さらに乳牛専門家ハンコック氏が近く訪日する。

一、水力発電借款は鉄鋼、農業借款より遅れている。日本電源開発会社幹部が近く世銀を訪問するという話はまだ具体化していないようだ。

[illegible]実があるとすれば当委員会の委員に疑いがかけられるから委員の名誉のために猪俣委員の発言は重大である。具体的に説明せよ」との発言が行われ、猪俣氏から「当委員会に疑いがあるわけではないが、そういう事はないように予防的に発言したまでで他意はない」と釈明した。

本紙愛読者に贈る夏のサービス
7月10日から→8月31日まで

内外タイムス山の家

☆"四年ぶりの暑さ"といわれる夏が来ました。本社では愛読者の皆様への夏期サービスとして例年の如くお馴染の湘南海岸"海の家"に房総館山海岸を加え、更に国立公園箱根芦の湖畔に"山の家"を特約して皆様のご利用に供しますから奮って御参加下さい。

箱根芦の湖畔・湖尻バンガロー村往復バス毎日運行

☆参加会費・五五〇円(東京—箱根町往復料金と山の家、遊覧船割引券付)

☆優待特典・山の家、湖尻バンガロー宿泊施設半額、芦の湖遊覧船往復(一四〇円)を五〇円に割引優待す。

施設と優待料金

バンガロー	棟数	通常料金	特別割引
3人用	20	300円	150円
5人用	10	500円	250円
12人用	3	1.200円	600円
15人用	2	1.500円	750円
35人用	1	2.800円	1.400円
50人用	1	4.000円	2.000円
キャンプ5人用	20	400円	200円

【コース】往路、東京駅八重洲口(八・〇〇)出発、江ノ島(五分休)—小田原—箱根町(一二・〇五)着、箱根町から片道25円(芦の湖遊覧船乗船)—湖尻バンガロー村着(一三・〇〇)—泊

復路、湖尻バンガロー村(一四・〇〇)出発—往路同様のコースにて東京駅(二〇・〇五)帰着

△横浜方面からの方は横浜駅前(八・〇〇)に出発、山の家に約一時間早く到着。△山の家バンガローは芦の湖の淡水水浴場、貸ボート、魚釣、キャンプファイヤー△売店には日用品を始め食糧、調味料あり、貸毛布(30円)布団(50円)食器類も用意があります。(お持込み自由)△ハイキングで箱根長尾峠まで四〇分、仙石原ゴルフ場、姥子温泉、大涌谷、遊覧船利用の場合は箱根権現、旧関所、考古館、恩賜公園

☆申込・本社事業部(56)八六四六、箱根登山東京出張所(28)四四〇二、赤木屋ガイド(27)〇〇一六、八重洲口国鉄ガイド(23)二一三一、松坂屋チケットビューロー上野(83)四八八四、銀座(57)四一六一

内外タイムス海の家

鎌倉 由比ヶ浜海の家 国電鎌倉下車15分 由比ケ浜中央石段角
片瀬 東浜海の家 小田急片瀬5分、江ノ島桟橋から四軒目
片瀬 西浜海の家 小田急片瀬2分、モーターブール前海岸
逗子 渚海岸海の家 国電逗子下車5分 逗子海岸不動寄り
房総 館山海の家 国鉄館山下車8分、東海汽船館山桟橋下船1分

更衣室、シャワー、売店の設備があり、本紙優待券をご利用下さい。

☆通常料金(茶代を含む)60円(小人40円)を本紙優待券(十日の紙面から刷込)切抜ご持参の方に限り上記の割引料金でご優待します

半額 大人30円 小人20円

☆館山海の家のみ(大人20円)(小人15円)
☆片瀬西浜モータープール際「蛇の目寿司」2割引

内外タイムス社

市況 無風コゲ付き

休日を控えて大証券買が幾分消極化したため市況は一段と無気力化し、全般に目立った値動き皆無で全くの無風コゲ付相場に終始した。特選株は引続き動意薄のうちに低調な一、二円幅の小浮動をくり返し、雑株も部分的に三、五円幅の小浮動を示したのが目立つ程度であった。高下区々が見られたほかは大部分はほとんど動かず、わずかに石油株が野村の積極買で商い活況のうちに小締りを示したのが目立つ程度であった。

▽高い株=九州電五円、邦化学四円
▽安い株=服部時計五円、菱地所、北海電四円

東京株式仲値
□新株落△配当落 (9日終値)

特定銘柄	
東海上	251
郵船	59
新三菱	84
日清紡	264
味の素	273
三越	264
三菱地	479
平和不	179
三井金	112
三菱金	84
日鉱	82
住友金	92
三菱鉱	41
古河鉱	60
同和鉱	114
住友炭	53
三井山	54
北海炭	50
東邦亜	65
帝石	71
日石	100
昭和石	107
東燃	116
三菱石	129
大協石	120
日東化	75
日産化	75
三菱化	107
三井化	118
協和醗	114
東合成	121
三共薬	150

銘柄	
信越化	78
東高圧	124
昭電工	87
日本曹	76
旭電化	70
三菱造	83
三井造	118
三菱重	63
石川重	92
精工	129
東洋ベ	111
日立造	50
浦賀	49
日平	20
古河電	68
日立製	68
東芝	65
三菱電	78
小松	51
日本光	139
キヤノ	144
東京光	36
東洋紡	140
鐘紡	115
富士紡	109
大日紡	83
日東紡	59
片倉	36
東邦レ	103
帝麻	53
中繊	52
帝人	135
東洋レ	178
三菱レ	128

銘柄	
倉レ	96
旭化成	342
山陽パ	104
日本パ	99
国策パ	107
東北パ	121
大東紡	98
商船	45
三井船	49
飯野海	45
西武	354
藤田興	213
東京ガ	65
東電	471
日銀	—
東銀	72
三井銀	70
富士銀	89
日証金	85
安田火	109
大正海	89
住友海	81
千代田	—
鋼管	71
日製鋼	68
八幡鉄	50
富士鉄	48
神戸鋼	55
日特鋼	117
日軽金	182
日金工	62
日セメ	131
磐城セ	235
小野田	79
横浜ゴ	159
旭硝子	141
富士写	128

銘柄	
小西六	116
カボン	48
三井物	139
第一物	96
白木屋	252
高島屋	82
日活	73
松竹	198
東宝	1340
大映	179
日本粉	130
日清粉	159
日本ビ	153
朝日ビ	172
キリン	192
宝酒造	91
台糖	227
明糖	121
甜菜糖	135
野田醤	190
森永	287
明菓	185
日水産	82
昭和産	94
東洋醸	70
合同酒	110
三楽	91
大阪糖	144
王子紙	217
十条紙	228
本州紙	88
三菱紙	88
北越紙	56
三井不	786
三井倉	73
渋沢倉	78
東洋埠	—

内外抄

決定米価一万百六十円、農相と蔵相の仲を取りもつ百円増し、アラヨイショ〜。ああしんど。

◇

洞爺丸事件の審判、船長は誤り、気象台は不適当、国鉄は怠慢と黒星ずくめ。これでは助からぬ。

◇

検定調査が出揃い目で偏向の教科書が多いとの石井証言。偏向派が偏向教育するに世話はない。

◇

鎌倉の海のカーニバルにことしは外国から「赤い客」を招く趣向。「水遊び」から「火遊び」へ。

◇

全国で五十万人との労働省の「売春白書」文部省あたりでも「売られる女の哀話集」はいかが。

がい川柳

[illegible]選

モルモット犠牲にされる順があり 荒川 松永眞
普段着の芸者と話す三味線屋 江戸川 伊沢久坊
夏手当要求じゃなくふんだくり 川崎 小宮せいじ
螢狩母が案じてついて来る 横浜 渡辺夢坐
この頃はブクロの外科醫よく流行り 文京 木村いつ秋
富士山の裾にいっぱい火口でき 品川 鯛牛
洋装のよくぞ女に生れける 千代田 南渡波

おことわり 「民主党のお家騒動」は本日都合により休みます。

粋人酔事
浅草の女
峰岸義一

浅草観世音の大伽藍が落成してから、何んのかのと文句はあっても、浅草らしい感覚をよび戻したことは事実である。

内部へ入ってみれば、まだ鉄筋の匂いがして、至るところにセメントの肌が露出しており、外観ほどでもなくがっかりさせられる点があるが、とに角何千万人かの寄付でのっかった甍の勾配は壮観で昔のように鳩が沢山いたらもっといい。

そうした浅草の朝を楽しんでみようと一念発起して、この開六区のさる宿屋へ泊ってみた。風流とはこんなものかなとつくづく思ったのは、「納豆!納豆!」という呼び声を朝の六時頃に聞いたことである。

私は今、千葉に住んでいるので、朝まだき納豆売りの声を聞かず、久し振りで東京の朝らしい清々しさを味わった。

都会はこれから動き出すのだし、歓楽の街浅草も、今はどうして静かだが、やがては手を洗う雑沓を繰返していくのだと思うと、ボヤボヤ寝てもいられないので、自分は雨戸を繰って起き上った。観音堂の屋根は、相変らず浮世絵の如く七月の空を斜に区切って、銀杏の梢にも青葉が暈するかー東京の空の下、隅田は流れる景観はなかなか粋である。

ここらの人は夜ふかしを生活としているから、まだその時分はひっそり閑としている。はたして納豆が売れるものかどうか? 余計な心配まで私はしている。

洗面所の方で、勢よく水音がするので、私も歯が磨きたくなり、そそくさと浴衣のまゝで廊下へ出ていった。と、そこの洗面所の鏡に、自分の顔を覗き込ませるようにして、これも水玉模様の浴衣姿のまゝで、しきりに歯を磨いている女性がいた。

年の頃は二十四、五か、八頭身とまではいかないまでにもすっきりしたいい女、どうしても見なければならなかったからという訳じゃないが、臀部のしまりが殊のほかよろしく私の食欲を唆る方の型の女である。顔は口紅も白粉気もないせいか、ちょっと興ざめた感じだが、夜更かしをした女特有の蒼さがあり(それが都会の美しさでもあるのだが)まことに申分ない。

私も彼女の隣の洗面器へいって、歯を磨き出した。そのうち、話しかけたくなったので「君のことは、僕知ってるよ!」と先ずハッタリの毒気をふっかけた。

「あら、どうして?」鸚鵡返しに彼女が答えたのに、どう継穂しようかと一時は考えたが、もともと知ってもいないのにキッカケるのだから骨が折れる…でも、商売人と睨んだ眼に狂いはない筈と、「僕は君と一度ここへアベックしてみたいと前から考えていたんだがネ」と、思い切って一の矢を放った。それを聞くや、「フフフ…」と歯磨の、泡を口からこぼさんばかりに彼女は微笑んで「私は男と寝ないことよ」と、案外の返事。

私もこれには面食らって、少々ドギマギしたが、「いや、そんなことは問題じゃァないんだ。僕という人間はネ、浅草の朝を楽しむために一人で泊ったりする人間なんだ。判らないだろうなァ」といったら「私だって同じことよ」とおっしゃる。こりゃ面白いと思ったから、私の部屋の番号を告げて、旦那との面倒さえなかったら話しに来ないかといってやると、彼女は「面倒なんてないわ、じゃァお化粧すませたらいくわ」といってくれたので、その場は別れたが、間もなく彼女は僕の部屋をノックした。

彼女の正体はそれで判ったのだが、相手の男というのは、昨夜終電で帰ったのだそうで彼女も僕と同じく浅草の朝を楽しんでいた一人だったのである。

彼女は売笑婦じゃないという、つまり男と交わらないからだという、それは絶体にお断りだが"キッス"だけならというのである。キッスといってもいろいろあるんだそうで、彼女には胸を病む内縁の夫があり、今どき珍らしく貞節を全うするため、キッスを条件として客を取るのだそうだ。鳩の街ばかりじゃない。吉原の遊女たちも情夫へはそういった仁義があるが、それとはまた逆な戦後版貞操というべきもの…だが、私は浅草の朝らしい爽やかさを感じた。

青春無宿(61)
大林清 作
高原健二 画

女の危機(一)

バー・スカーレットに近い、並木通りの喫茶店の一隅で、光代はさっきからもの想いに沈んでいた。

昼間宇田次郎と別れた足で、前の職場の喫茶サロン青い星へ行き、夕方まで時間を潰した。スカーレットの入口に立ったのは灯ともし頃だったが、なぜかその階段をのぼりにくく、またその前をあるき出してしまった。心の決まらないままに、その辺を一とまわりしてから、ふたたびスカーレットの反対側の舗道へもどって来た時、タクシーから降り立つ菅野の姿が光代の足をすくませた。幸い菅野はこっちに気づかず、スカーレットの入口へ吸われて行った。

光代はあとをも見ずに、小走りになって、この喫茶店へはいってしまったのだ。

宇田には話さなかったが、光代は迷っていた。二度と菅野と顔を合せるのが嫌さに、ほかの職場を探そうとまでした一面、逆に死んだ気になって、菅野に接近しようかという気持もあった。金が欲しいからだ。今、まとまった金を手にしなければ、光代の一家は、動きのとれないところまで追いこまれていた。

今朝食事のあとで、光代が階下の台所へ洗いものに降りていると、父の彌一が顔をのぞかせた。

「困ったことになったよ、光代」

酒のはいっていない時は、まともに相手の顔を見ないで話す癖のある彌一が、あらぬ方を見ながらいうのだ。

「木島さんがすっかりつむじを曲げてよ、貸した金を返さなけりゃァ、すぐ家を出てもらいたいっていうんだ」

光代は息つまるおもいで、彌一の言葉に従わなければならないとすれば、同じ棟の下にいる武吉よりも、菅野の方がいくらかましなように思われる。必要な金を手にさえしたら、相手が菅野の場合、その前から姿を消すことも出来るだろう。

「よろしゅうございますか」

女の子がそう云って、光代のテーブルの上から、空になった飲み物のコップをさげようとした。

光代はあまり長くいすぎたのに気づき、

「何時になるでしょうか」

と、赤面しながらきいた。

「七時半をちょっと過ぎました」

女の子は自分の腕時計をのぞきながら答えた。

「すみません」

光代は伝票を手に立ちあがった。勇気をふるって店へ出る気になったのだ。もしかすると、宇田が約束通り千子に話していてくれるかも知れない。そうでなかったらその時のことだ。そう心が決まった。

彌一はその理由に触れないが、光代が木島武吉の思い通りにならなかったので、腹を立てた武吉が仕返しの難題を持ちかけたにちがいなかった。

「さしあたって五万ほどないと、どうすることも出来ない。なんとか考えてくれよ」

それだけ云って、彌一は二階へあがって行った。

五万円などという金が、右から左へ才覚のつく筈はない。なんとか考えてくれと彌一がいうのは、武吉のいうことをきけという意味らしかった。

光代にとって、木島武吉も菅野も、嫌いな点ではたいしたちがいがない。だが、どうしても、その

夜明し喫茶の生態

午前一時の客、サラリーマン風のアベック

午前1時から朝4時まで

話題を解く

ネオンと酒と女、都会の夏の夜も終電車の過ぎる午前一時には一応終るが、デフレ打開のたくましい商魂が生んだ"夜明かし喫茶"が出来てから、短い夏の夜も夜明けまで延長、短夜を惜しむアベック族には「夏の夜のオアシス」とばかり喜ばれている。新宿二丁目のP店は場所から千客万来さまざまの模様が繰展げられて、その生態は都会の深夜の縮図ともいえよう。さてその生態とはどんなものか、問題の深夜のP店を探ってみた。それはむし暑い一夜だった……。

常連は学生さん

=女給風も入り混じり=

ソファが寝台がわり

○…場所は新宿二丁目特飲街から道一つ距てた横丁の左側。辺りは飲屋、飲食店。午前一時だというのにこの通りは赤々と灯がついて、まだ酔っぱらいが右往左往。道一つ距てた二丁目特飲街は店々の灯こそ消え、客呼ぶ女がドアの陰、表にたたずんで「ねえ、お兄さんてば」薄暗がりの中に白く浮ぶドレス、微笑む顔、その中をひやかし客がまだゾロ〳〵往来する。ちょっと離れて、青線地域の花園街も灯は消えているが、横丁、横丁には店先に涼みがてらの女達が仇花のようにズラリと咲いて「この横抜けられません」という感じだが、さすがに人通りはとだえている。タクシーだけが「これからが稼ぎどき」といわんばかりに辻、辻の駐車場に屯して、酔っぱらい、女給と客の二人連れなどブラ〳〵歩きの遊行人を忙しげに呼んでいる。

○…グルリと回って問題の店に入る。店内は薄暗いロッジ風造り。[illegible]階段を挟んで二階座敷[illegible]

○…集まった客の方は二十四、五歳のナイロンブラウスの[illegible]二階には大学生の三人グループ[illegible]

[illegible]S子さん[illegible]ラシックが好きで[illegible]ショパンの"幻想曲"[illegible]は名曲に聞き入る[illegible]コードを聞きにショパンの"マズルカ"を注文した。

○…同じころ来ていたのがやはり名曲ファンのW大の学生。"マズルカ"が終ったとたんに今度はその学生が同じショパンの"熱情"を注文した。二人の目は期せずして合い、ショパンが縁結びの神となったが、いまでは三日に一度は深夜二人で訪れる仲となった。二階の学生グループは演劇部らしい。台本片手に本読みとはとんだ稽古場。

椅子がそのまゝベッドで夜舟こぐ(午前二時半)

○…一時半ごろ十八、九歳紺ワンピースの女が入ってきて三階の片隅に席を占める。彼女はテーブルに化粧品を並べて夜化粧を始めた。「暑い〳〵」と起き出した学生が「おい見ろよ、お前話しかけろよ」「ちょっといいな」と三人とも起き出して「ヒソヒソ」彼女の品定め。先ほどの三人の学生に逃げ出したアベックもいつの間にか一階の隅に納っている。男は女の肩に腕をかけて…女はなすがまま。嬌声、酔っぱらいの声で喧騒だったこの横丁も、いつの間にか静まり返って、聞えるのは発着するタクシーの音だけ。

○…マネジャーの話では、客の半分は常連で、二階にいる学生とナイロンブラウスの女の二人連れもその口。ナイロンブラウスの女

える。一階に降りた二人連れは今度はキチンと並んでコーヒーを飲んでいる。二階の演劇グループはまだ本読み。一人の学生が立ってストーリーの説明をしている。もうタクシーの音も聞こえない。全く深夜という感じ。

短夜を惜しむ如くペチャクチャ(午前一時半)

徹夜の高校生アベック

身をすり寄せるお下げ髪

○…午前三時。三階は高校生、若いサラリーマン風なアベック、ワイシャツ姿の酔った学生二人、ラフな男どもが四人と増えている。さきほどの学生は女の品定めで寝そびれたのかまだ眠らない。女も一杯のコーヒーでションボリ座っている。高校生のアベックは女はまだお下げ髪、窓側のロマンスシートで身をすり寄せて何やらヒソヒソ。

○…ラフな男共はテーブルに足を乗せて「全く景気が悪いよ」「ジャニーの野郎今夜来るはずなんだがな」と、これはどうやらポン引きらしい。三十分ほどでドヤ〳〵と出て行った。入れ替りに上って来たのが二十歳位、黒蝶ネクタイの男「待った」と囁き声。彼はさきほどから学生の品定めの的だった女の連れ。「あなた来ないと思ったワ」「ごめんよ」ウェイトレスがバタン〳〵と上って来て、コーヒーを置いてサッと引揚げる。聞けば「こんなアベックには気を利かして、足音で気づかせ、注文もきかずにコーヒーだけ置いて素早く引揚げるのだ」という。

○…彼女はクネ〳〵とすねているようだったが、結局ピッタリ寄りそってモジ〳〵。「チェッ」寝もやらずの三人の学生が「やっぱり帰ろうか」ドタンバタンと降りて行った。見たところこれはボーイとウェイトレスの恋らしい。酔った学生二人は「お前も親不孝だな、酒ばかり飲んで」「わかってるよ、卒業したら親孝行するよ、全く俺の小遣はヘタなサラリーマン以上だからな」ゴロッと横になって間もなく高イビキ。

○…高校生のアベックはまだ起きている。サラリーマンのアベックは頬をスリ寄せてウト〳〵。ボーイとウェイトレスの恋は進行中、薄暗がりにからんだ脚が浮んで見える。

終電車を逃がした酔っぱらい、独りで高イビキ(午前三時半)

夜明け早々"お迎い"

○…いつの間にか窓側が薄明るくなってきた。午前四時、夜が明けてきたのだ。バタ〳〵とウェイトレスが上ってきて、「お時間です」とコーヒーカップを下げて回る。起きていたアベック連は興ざめた顔で立上る。寝ていた酔っぱらい学生はまだグーグー。「お時間ですよ」とウェイトレスに起されて「わかってるよ、帰るよ」としぶしぶ。「やはりアベックが多いんですけど、みんなスゴイのよ。一晩中起きてるワ、途中から旅館に行く人もいるわよ。でもね、私達はこれが職業と思ってるから平気よ、別にヤケないわよ。辞書なんか持ってきて勉強する学生さんもいるわ。毎晩トースト一つだけ食べて泊るお爺さんがいたんだけどこのごろ来ないのよ、どうしたのかしら」とこれはウェイトレスF子さん(一九)の話。止っていたタクシーもウー、ウー、と動き出した。

モダン歳々記

サドの殺生関白

文禄四年七月十日、豊臣秀吉の甥でその養子となった関白秀次が毛利氏と結盟の議により高野山に追われ、青巌寺に入った。彼は三好一路の子として生れた。秀吉の四国、九州、奥州征伐に従軍して勲功もあり、もともとは風雅を好み文才もあり、篤実な男だったが妻妾三十四人を擁してその淫楽甚だしいものがあった。なかでも一の台母子を犯したり、美人とみるとこれを我が意にそわせ、はては拒む者はこれを殺し、妊婦の腹を裂くなどという乱行をやったものである。そこで殺生関白などといわれ、我国サディズムの代表的人物となってしまい、遂には秀吉も怒ってこれを高野山に追放したのだった。失意の秀次の乱行はこの時既に常識を超えていた。そこで遂に死を強要され、彼は自刃し、その妻妾子女数十人も斬首されたのであった。どぎついサディズムは我国に珍しいが、雄略、武烈両天皇や織田信長に並んで秀次らはサドの和製四天王ということができるだろう。しかし殺生関白グロ物語が秘史小説は別として艶本に余りみえないのはやはり我が国民性の淡白なことからくるのであろう。(鮭)

蛮流世界譚 ……(ビルマ)……

小乗仏教が盛んなビルマは、独立以来文明開化の気運が盛上っていますが、長い間の習慣で坊さんの権力はまだなかなか衰えておりません。そこで多情な未亡人のミヤン夫人は男の坊さんになりすまし、好きな男を自由にすることを考えつきました。さて黒髪を切った彼女はマンダレーの大寺院にまんまと入りこむことに成功しましたが、早く末寺の主になりたい一心で朝晩の勤行にはげみますから、評判の悪かろう筈がありません。ところでマンダレーは世界でも有名な酷熱地、昨今の暑さは理性をマヒさせ、煩悩の炎をかき立てます。とうとうがまんが出来なくなったミヤン夫人、或る日年若い修道僧を誘惑し、寝像のある室へ連れこむことに成功しました。してやったりとばかりおもむろに未亡人の本性を発揮しようの段になったとき、折悪しく大僧正にみつかりました。「こりゃ、真っ昼間から何をやっとるのじゃ」ととがめられた彼女「仏陀にあやかって、横になりながら慈悲を垂れております」

東海毒婦伝 青とかげ (2)

野沢純 / 土端一美 画

夏夜空(二)

今し、娘の目に映ったのは、つい近くに隣合わせた屋形船。

そこにたむろして互いに酒を汲み交しながら、花火見物に打ち興じている、四、五人連れの旗本武士にまじってただ一人、最前から酒も飲まず、やゝ離れたところで頻りに空を見あげている、前髪立ちの若ざむらいであったのだ。

打ち上げられる度ごとに、ひときわ四囲が明るくなる。その、とりどりな灯色の中に、くっきりと浮び上る若衆姿に、娘ごころが惹かれたらしい。

(ははァん…)

と乳母は忽ち頷く。

見れば若衆侍は、小笠原三蓋菱の定紋ついた、はなだ色薄絽の帷衣に、かつお縞の平袴。

菖蒲革で柄を巻いた小刀をたばさみ、かたわらに黒色柄、鉄のはみ出し鐔、ため塗り鞘の大刀を横たえて、鷹揚に空を仰いでいる。

眉ひいで、目もと涼やかな美男ぶりは、なにさま物語に出て来る白井権八とはこのような若者であったろうかーと思わせられる程の佳い男。

花火を眺めて、若者の目は涼しく動く。動きにつれて、娘の眸もあとを追う。何のことはない。花火よりも、そっちの方へ気をとられた形だ。だから、

「お嬢さま！」

と乳母に声をかけられても、返事もせず、目は依然として、若衆姿に向けられた儘、じっと見惚れた儘なのだ。

あたかも、憑かれ魅せられてしまったかのようである。

そのうち、ふっと若者の目が何気なしに、漠然とこっちの船へ向けられた。視線の合ったところで、娘はさすがにはっとばかりさし俯向く。

高まる胸のひとときである。

その儘しばし、目をそらしたがやがて小声で、

「お幾や－」

と乳母に呼びかけた。

「何でございます。お嬢さま？」

「あのね」

「はい」

わざとハッキリとした受け答えをするのへ、

「まあ、いじわる！ わかってるくせに……」

いいえをつくって、袂の端でぶつ真似をしながら、

「このお重、お隣りの船まで届けておくれな。あのお方、さっきから何にも召し上らないようだから」

「……」

乳母は呆れた顔をした。

(まァま何と、はっきりした事を平気で云うお嬢さんだろう！)

といった顔つきだ。

(あたしが娘の頃なんざ、近所の若い衆に声をかけられただけでもそれこそ只もう赤くなっちまったものだのに、今どきの娘ときたらあべこべにこっちから、枠桁なしの仕掛け花火だよ)

と内心呆れ返っているのへ、

「よう、早く！」

「へい、へい」

あすの運勢 ＝七月十日＝ 高島象山

▲一月生－気運平易にて平穏なり技倆を発揮して努力すれば漸次吉
▲二月生－外に迷惑あり内に気をやむことあり易い内外共注意せよ
▲三月生－元気よく活動し難事を突破して成功栄達あり開業結婚吉
▲四月生－稼業大事と他意なく一筋に努力すれば平穏の内に向上有
▲五月生－物事に急変を生じ易く意外の災厄を招来すること有注意
▲六月生－何事も向う処に通じ思う事叶う開業移転造作結婚は大吉
▲七月生－怠慢に流れず努力を惜まず業に忠実なれば多幸に至る也
▲八月生－何事も環境事情悪化して災いを招く内外共に慎重にせよ
▲九月生－勇気湧き立ち気運も旺盛に利達栄昌あり改革拡張よろし
▲十月生－疑心暗鬼を捨てほがらかに進み栄達あり卑屈なるは失敗
▲十一月生－物事齟齬し易い油断なく心を引きしめ努力すれば無事
▲十二月生－物事積極的に活動して栄達あり起業開業移転結婚大吉

ラジオとテレビ 9日(土)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷音楽劇「二つの鐘」川田正子他 40 スポーツだより	05 英語会話 松本亨 15 東京都庁の汚職 30 ピアノ独奏 小園登士子	10 東西こぼれ話 桂小金治 15 スイート・コンサート 25 ぴよぴよ大学 河井坊茶	00 劇「少年宮本武蔵」 10 おばあちやんと一しよに 司会ワカサ・ひろし	00 メイコのお婿さん探し 15 ビクター・パレード 45 歌謡百貨店 高田浩吉
7	15 録音ニュース 30 在日外交官の二十の扉 王徳立中国参事官ほか 司会・長島金吾	00 映画音楽「スター誕生」解説 清水光雄 30 ❶青年学級だより❷農村の科学化を阻むもの	10 録音ニュース 20 物語「赤穂浪士」夢声 50 リズムに乗つて 吉田末男とその楽団「宵待草」他	00 録音ニュース 10 歌ペギー・リーほか 30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎 豊文ほか	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ 山本譲 30 怪談咄「宇都谷峠・文弥殺し」泉天嶺
8	00 なつかしのメロデイ 昭和初期の少女歌劇を偲んで 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎 長崎抜天 柳橋	05 きようの国会から 20 プロ野球公式戦(ナイター)巨人対中日 後楽園球場から	00 劇「ママ姉さん」木暮実千代 雪村いづみ 山形勲 30 浪曲「大瀬半五郎」第三回 広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢 丹下キヨ子 テイーヴ釜范他 30 都々逸スクール 木戸竝 藤本二三吉 都家かつ江他	00 飛び出す放送 トニー谷 関千恵子 豊吉ほか 30 リレー浪曲「仁吉と長吉」林伯猿 林晴夫
9	05 ニユース解説 藤瀬五郎 15 劇「樹氷」永井百合子 関口玄三 吉田雅子ほか 40 水害とダム	00 ダンス・アルバム 解説 酒井和夫 45 プロ・レスリングの近況 力道山 東富士	10 歌謡曲 島倉千代子 細川綾子 美空ひばりほか 40 劇「雷雹」肥田正典 河村弘二 梅沢喜久子ほか	00 ❶漫才 歌鷹・八千代❷落語 染丸 30 劇「この世の花」真木恭介 丹阿弥谷津子ほか	00 リレー劇「太郎行くところ」司葉子 大川太郎ほか 30 古今東西恋譚「お軽勘平」筑紫まり 古川緑波ほか
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話 市村俊幸 宮城まり子 笠間雪雄	00 ❶初級世界史 中村英勝 ❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 漫画「けだものの巻」 30 劇「うちのおばあちゃん」	00 大学受験夏季実力錬成講座 英文法 黒田巍 30 国語(古文)小西甚一	00 歌謡曲 若原一郎 照菊 津村謙 三橋美智也 35 スポーツ・カレンダー
11	10 広帯域放送について 20 随筆「若葉の色」竹中侑	00 かわいい子には旅が薬 長晃敏夫ほか	10 第一管弦楽団 指揮近衛秀麿 田園交響曲二楽章他	00 DXニュース 福士実 20 ダンゴシヤンソン集	00 唄ごよみ 音丸ほか 40 ハイフイ・アルバム

テレビ

★NHK★ ◆6・00 親子クイズ 田中明夫ほか◆6・30 今晩はメイコです 中村メイコ◆7・10 週間ニュース◆7・30 テレビ映画劇場(児童劇映画)❶善太と三平❷トランペツト少年◆9・35 ニュースの焦点

★NTV★ ◆6・00 ミー子ちゃんの冒険 尾津豊子 山本一己ほか◆6・10 動物園「王将へび」◆6・30 素人のど競べ 水の江滝子ほか◆7・30 なんでもやりまシヨウ◆8・00 巨人—中日戦【中止の時】後楽園サーカス中継

★KR★ ◆6・00 映画「私たちの新聞」ほか◆7・00 コメデイ「愉快な家族」羽鳥敏子 丘龍児ほか◆7・30 プロ・ボクシング・チヤンピオンスカウト・リーグ(京橋公会堂から)◆9・10 探偵劇「日真名氏飛び出す」

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 私の主張 高橋義孝 8・05 音楽の泉 堀内敬三 9・30 コーラス・アルバム 10・30 声くらべ子供音楽会 11・25 講談「親鸞」宝井馬琴 12・15 のど自慢素人演芸会	7・15 日本の火山 久野久 8・00 宗教の時間 渡辺照宏 9・00 読書案内 馬島僴 9・30 ラジオ音楽雑誌 10・00 下半期の将棋界を語る 11・25 謡曲「野宮」梅若六郎	8・20 越路おしやべり手帳 9・10 ちえのわクラブ 10・30 交響曲「驚がく」 11・05 ミユージツクアルバム 12・10 素人うた合戦 1・35 落語「代脈」小金馬	8・25 みんなのメロデイ 10・45 スターは待つている 11・00 陽気な一家◇歌謡曲 12・00 親子三代演芸会 1・00 歌の玉手箱 今村アナ 2・00 日曜寄席◇歌謡曲	7・15 ABCの発明 三笠宮 8・30 財界放談 田中外次 9・15 日曜随想 河野勝斎 10・30 歌はあなたと共に 11・00 お母さん教室服田悦三 12・00 職場対抗のど自慢

暑さも人出も本年最高

うだる都民海山へ

プールは満員札止め

第二日曜日の十日は朝からジリジリと太陽が照りつけ水銀柱はうなぎのぼり、正午すこし前にはついに三十二・七度と今年最高気温を記録、海へ山への人出も今夏最高、江ノ島、鎌倉の海は正午すでに十万を突破、都内のプールもどこも超満員だった。

◇海水浴航路 東海汽船の勝山への海水浴航路はきょう十日が本年の航路開き、橘丸が約千二百人の乗客をのせ午前八時竹芝桟橋を出港した。

◇東京駅 日の出からの照りつけで東京駅にくりだした海浜行の人の波は午前九時現在すでに十二万、横須賀線三本、湘南電車二本の臨時電車はいずれも超満員、各ホームには家族づれがごったがえしていた。整理の係員たちもきょうは普通の日曜日の二倍以上の人出になるでしょうといっていた。

◇渋谷 江ノ島行バスは九台ずつ出しているがいずれも満員。デパートは冷房があるための"納涼客"とボーナスが出ての"御中元客"で平日の二、三割増の人出。

◇京浜品川 逗子行臨時電車を十五本増発。船とタイアップして房総行電車を三本。午前十時現在は二～三万の人出で本夏最高。ここは学生アベックが多い。

◇小田急新宿 午前十時現在八万の人出。あと二万ぐらいは出るでしょうとの話ですでに九本増発さらに二、三本は増発せねば…という本年最高の人出で、こゝは片瀬方面への子供連れが圧倒的に多い。一方、箱根への客も案外多くこれは「ことしの国体の登山競技を丹沢で行うためでしょう」と駅ではいっている。

◇国電新宿 午前十時の人出七万。甲府、河口湖方面に三本、犬吠岬、館山各方面に各一本の増発各列車とも座席定員がふさがる程度で、こゝは平日をちょっと上回る程度。

【写真はきょうの暑さに河童で大賑わいの後楽園プール】

新宿で売春宿手入れ

淀橋署では十日朝七時新宿区角筈一の一旧和田組マーケット内簡易料理店「つるの家」=経営者山田節子(三六)=ほか五ヵ所を売春の疑いで手入れを行い、山田ら二名を婦女管理容疑で、また山田方の女給小林和子(三四)ら女二十名、客十七名を売春現行犯でそれぞれ検挙した。

今度は都立大講師

神経衰弱から 多摩川で入水自殺

[illegible]「明日自殺である」との非常に割切った遺書を残して[illegible]青酸カリ自殺を遂げたが、十日朝またも都立大学の講師が多摩川に入水自殺を遂げた。

[illegible]

関口三郎講師

関口さんは昭和二十三年東京工大工学部電気工学科を卒えて都立大学に勤務していたが二年前から"精糖濾剤より活性炭素の回収"(原糖を精製するさいのカスをさらに電気分解により精製する法)という研究をはじめ昨年文部省から科学研究費を受けたほどで、研究はもう一歩の所で完成の予定だったという。

和子夫人(三九)の話によると、関口さんは内気で研究の上でも将来を嘱望されていたが、さる五月ごろから神経衰弱気味で昭和医大に通うようになってからは研究もうまくゆかなかったようでさる五日研究室で服毒自殺を遂げた東大森講師の自殺の新聞記事をみて非常にショックを感じた、と和子さんに洩らしていたところから研究上のゆきづまりから自殺したのではないかとみられている。

なお遺族は妻和子さん、長男栄ちゃん(七)長女玲子ちゃん(四つ)

夏枯れなんぞ吹っ飛ばせ

堂々高島本家の看板

ネジ込まれたら"私はモトイエ"

デフレ紳士録 ⑤街頭易者

割り易いって易者のことだが、ピンからキリまである。[illegible]キリの方はいわゆる大道易者「アイヤそこへ行く学生君」ナンテ道行く人に呼びかけるのまでふくまれる。世の中が混沌とした不安に覆われていれば、何かに頼りたくなるのが人情で新興宗教的なところもあるが、自信のない迷える心を易者先生にドンピシャリときめつけて貰い、方向を与えて欲しいという様々の階層の男女で結構ハヤッている。

大道に立っていても一日千円から二千円はアガるというのに仕込み費は二、三冊のネタ本を熟読翫味するだけ。あとは度胸と弁舌がモノをいう。鑑札も要らなきゃ、取締り法規もない。もったいぶってゼイ(筮)を扱い「あんたには女難の相がある」とノタマえば大抵の男性はコロリ。それに「近い内に金脈にぶつかる」といわれて喜ばぬ者はまずない。人を喜ばせて儲ける有難い商売である。

とはいってもこの道で食っていくにはやはり土地の親分にアイサツしなければ商売が出来ない。テキ屋仲間に仁義を通すのである。サクラも時にとっては必要である。目かくしをして、客に自分の干支を取らせ、それをピッタリ当てるのはむろん仲間が暗号で知らせるのである。また、店を張って占いをやるにはどうしても看板が必要だ。地方の人などは今でも、上京して見て貰う時にはどうしても「高島」の看板でないと承知しない。そこで営業政策上、「高度宗家」へ断りなしで看板をかける易者も出てくる。ヒドイのになると「高島本家」と看板をかけて 文句をいわれた時には、「これはホンケではなくモトイエ、つまり高島は私の筆名でモトイエは名前です」といゝ逃れまで用意しているのだからイヤハヤ。こんな手合いは、宗家高島呑象翁は易を余技にする実業家であったことなど恐らく御存知あるまい。

【写真は街頭易者】

219 エムさん 刈田進介

運転手に猿ぐつわ

埼玉まで運んで松の木に縛る

新宿で乗せた三人組 車ごと奪って逃走

【浦和発】十日午前零時半ごろ東京都江東区大島町二の三四四東栄タクシー運転手浅井孫一さん(五〇)=東京都文京区根津片町二三=は新宿二丁目の特飲街から早稲田までの約束で若い三人づれの男を乗せ同区鶴巻町地内に差しかゝった際、一人がいきなり浅井さんの首をしめ他の一人が脇に短刀をつきつけ、さらに一人が浅井さんの頭を棟瓦で殴って一週間の傷を負わせた上さるぐつわをはめたまゝ別の一人が車を運転、埼玉県北足立郡朝霞町膝折下ヶ原二二三六地内迄きて浅井さんを車外につれだし付近の松の木にしばりつけ現金四千五百円と五三年型空色トヨペットを奪って逃走した。浅井さんは間もなく自分で縄をほどき付近の農家に救いを求めた。

届出により朝霞署で捜査しているが三人はいずれも二十五、六歳で同署管内で去月十五日にも同様手口の自動車強盗事件があり未解決となっているので同一犯人の仕業とみて捜査している。

二人組片割捕う 南千住

十日午前二時ごろ荒川区南千住六の一三四先で台東区石浜町日正タクシー運転手福島熊次郎さん(三二)は隅田公園から三の輪までの約束で乗せた若い二人連れの男にウィスキーの空ビンで頭をなぐられ全治二週間の傷を負わされ、さらにジャックナイフでおどかされ売上金三千五百円を奪われたが、福島運転手はすきをみて車外に飛出し大声で救いを求めたので同番地のパトロール中の南千住署員がかけつけ逃げる二人を約二百㍍追跡、うち一人を逮捕した。男は墨田区隅田町三の四五二無職少年(一七)で遊興費ほしさからと自供している。

恐喝専門に10万円

パーティ券の売上狙う朝鮮少年

警視庁少年課ではかねてから不良少年グループの恐喝事件を追及中だったが、十日朝川崎市武蔵新田朝鮮人部落内前科二犯朝鮮人少年A(一六)を恐喝容疑で逮捕した。Aはさる四月二十三日、神宮外苑で大田区馬込西四東京第一高校二年生稲坂忠男君(一七)が、同校で行われるダンスパーティの券を売っていたところを脅かして、売上げ金の二千円を巻き上げたほか、現在までに同校のダンスパーティ券売りを狙って前後十数回約十万円の恐喝を働いていたもの。このほか都内高校のダンスパーティ開催の情報を入手しては恐喝を働いており、被害者は現在までに百数十名におよんでいる。

61日ぶり 紫雲丸浮ぶ

マストもがれた無残な姿

【高松発】"痛恨の日"から六十一日目、悲劇を生んだ宇高連絡船紫雲丸がきょう十日午前七時悲しい姿を海揚に現わした。この朝船体引揚げ作業はまだ明けやらぬ四時に開始され、呉造船所のサルベージ母船から紫雲丸の船尾にとりつけられた八、九、十番タンク(百㌧五個)に空気が送り込まれた。五時二十分一きわ激しい泡立ちとともに白い船尾がグッと突き出すように海上へ浮び出ると、付近の作業船から一斉に歓声が挙った。

次いで第二次作業が開始されたときはもうすっかり夜が明けた船首にとりつけた一、二、三番タンク(六個)に送気が開始され、作業員たちは祈るようなまなざしでこれを見守り、重苦しいような空気の中で静かなため息が流れる。

やがて見張り員の合図で巨大なクレーンが活動を始めた。ボートデッキ、ブリッジ、巨大な怪獣が海水をザーッと掃き散らすように紫雲丸は海上に浮び上ってきた。ちょうど午前七時。六十一日ぶりに見た紫雲丸はメインマストや左舷煙突をもがれ、無残な姿だ。吃水は船首三・八㍍、船尾八、九㍍であの生地獄と化した二、三等船室までが浮んでいる。作業員の拍手のうちに予定通り作業は見事に成功した。

引き揚げられたいたましい紫雲丸=高松電送=

"キ印"装いさながらマンボ

ハンドバッグ失い自作自演、娘の狂言

〇…ところ新宿駅二番ホーム―時 三日前の午前九時のラッシュ時―白ブラウス、白スカート、白ハイヒールと白ずくめの妙齢なお嬢さんが突然大声を出してぶっ倒れた。「なんだ美人だぞ…」それっとばかりラッシュ時のこととて物見高いヤジ馬が集って大変な騒ぎ、駈けつけた駅員がやっとのことで同駅公安室に運びこみ手当を加えて事情を聞こうとすると、この彼女、「あたしどうしたのかしら」と一言いったきりあとは目ばかりキョトキョトさせて、何を聞いても黙秘権、しまいには大声で笑いだす始末、「この娘、キジルシじゃないのか」の説もでて、処置に困り淀橋署駅前東口交番に連絡、署員が駈けつけると今まで笑っていた彼女、今度はお巡りさんに食ってかかり帽子をとるやら警棒を引張るやらで大暴れ、やっとのことで手足をおさえ、おりからヤミ米の取締りで捕えたカツギ屋と一緒にジープに乗せて同署保護室へ。するとあんなに暴れていた彼女は今度は見知らぬあたりの空気に驚いたのか、急に温和しくなって、しまいにはシクシク泣きだし「わたしは決して気狂や病気じゃありません、本当のことをいいますから、ここを出してください」と申し出た。係官が聞いてみると都下北多摩郡小平町の某英語学校学生青木春子さん(二三)=仮名=で「実は駅のトイレで定期券や現金の入っているハンドバッグをなくし、無一文になり学校や家にもゆかれず、病気のマネをすれば無事わが家へ…」とこの狂言? ところが余り大騒ぎになったので自作自演の珍芝居の効果にビックリしたと申し立て、真夏の気ジルシ珍事件も幕と相なった。

珍!人妻暴行事件ウヤムヤ

大岡裁きを見守るバタヤ部落

〇…数日前の午後浅草署に台東区浅草花川戸二の六バタヤ部落の住人富山照夫(三六)=仮名=が「妻が暴行された」と息せき切って訴え出た。事情をきくと同日午後三時ごろ仕事から帰ってくると、内縁の妻西田すみ子さん(三二)=仮名=が泣き崩れ「近所に住んでいる李某(五二)に手荒なことを された」というので「俺の妻を汚がすにっくき奴」とばかり訴え出たもの。同署で調べたところ、同部落は浅草言問橋下のバラック住宅で隣家とはベニヤ板一枚で区切られ、ちょっとした騒ぎでも部落全員に聞こえるが、この事件が起った日、彼女の部屋からはそれらしい声が全然聞えなかったと隣近所ではいっており、頭を悩ましたお巡さん一応李を呼んで調べたがウヤムヤで要領を得ず、大岡裁きではないが名越前が出てこなければ 解決はむずかしい そうだ。

"指先の魅力"に引かれ転落

悪運つきて女スリご用

〇…トラック二台を持つ運送屋の内儀が急転直下女スリの一年生になり、検挙された。日本橋署では埼玉県児玉郡友和村無職杉山きみ子(三八)を窃盗容疑で検挙した。彼女は沼津市西松下町八六二の一でトラック二台を持つ運送屋の内儀として暮していたが、昨年七月ごろ同店運転手酒井武(三二)と手をとりあってかけ落ち、東京で酒井に教えられスリの一年生となって共稼ぎしていたが、昨年十月悪運つきて二人とも四谷署に あげられた。酒井は強盗などの余罪のため服役、杉山は起訴猶予で釈放されたが、習い覚えた? 指先の魅力がわすれられず、さる三日午後二時ごろ日本橋高島屋五階売場で女客から現金五千円在中の財布をスリ取ったところを御用となったもの。

パリ祭前奏曲

小型車30台で都内行進

十四日のパリ祭にさきがけて、きょうからパリー祭ウォーク。祝福の第一陣としてパリ祭大行進パレードが十日巴里会の主催で行われた一行は同会の女性会員三十数名が三十台のルノーに分乗、朝十時半、丸ノ内日活前を出発―神田―上野―新宿―日比谷と賑やかに一周した。なお十四日夜、同会では品川駅前プリンス・ホテルで委員長・早川雪洲、祭主・石黒敬七、猪熊弦一郎氏のタクトでドンチャカ騒ぎを行う。

【写真はパレードのパリ会員】

無免許運転 五人が重傷

【横浜発】九日午後九時三十分ごろ横浜市磯子区丸山町三二五一先路上で人夫五人を乗せたオート三輪が運転を誤り路上にのりあげ、電柱三本に次々と衝突、電柱をへしまげた上、車を大破、運転していた同市南区新川町五の三三佐々木土建人夫吉川解能(三二)同乗者同区南大田町一の六号大工竹沢二三さん(四八)ほか三名は頭部打撲両足挫傷などいずれも三週間の重傷を負い付近の十全病院に収容。磯子署の調べによると佐々木らは同夜富岡海水浴場開きの前夜祭で工事関係者と酒をのみ無免許のまゝ友人のオート三輪を運転、走りながら歌などを歌い、気勢をあげているうちに路上の電柱に衝突したもの。

東横線に飛込み自殺

十日午前五時十分ごろ目黒区三谷町三五先東横線三号踏切りで元住吉発渋谷行上り電車に四十四、五歳の女に飛込み自殺した。碑文谷署で調べたところ女は下駄ばき白ブラウス姿で現場に「喘息で生きる望みがない」と遺書があるところから病気を苦にしたものとみて身許を調べている。

三輪で百三十坪焼く

十日午前四時四十五分ごろ、台東区三の輪七一パチンコ屋林大主さん(三三)方付近から出火。隣接の菅谷自動車修理工場(菅谷練治さん)二幸ゴム店(須能健二さん)など木造二階建三棟十世帯約百三十坪を全焼、同五時三十分ごろ鎮火した。坂本署で原因を調べているがこの火災で荒川区南千住八の一九消防団員鈴木冠一さん(三六)台東区三の輪町七一無職小倉まささん(五六)の二人はいずれも顔、手足などに軽傷を負った。

中山競馬最終日成績 ◇第一サ系五歳以上制限(千七百)①アポイオー(本郷)1分46秒2②フクオー6馬身③ライギク5馬身(単)120円(連)①―③130円 ◇第二サ(千七百)①マサハタ(石毛)1分43秒3(レコード)②タカツキ½馬身③ハクリヨウ2½馬身(単)290円(複)130円280円(連)②―③670円 ◇第三サ障(二千六百)①タカクモ(富田)2分52秒0②カネノボル2馬身½③ハナチヨダ大差(連)④―①150円(単)①―②―④700円

大宮競輪二日目成績 ◇第一B(千五百)①岡本秀2分10秒3②今泉平1身③白井正1タイヤ(単)150円(複)100円110円130円(連)②―①590円 ◇第二B(千五百)①逆井敏2分14秒7②内山文1身③鈴木厘(単)120円(複)100円130円120円(連)③―②660円

あすのスポーツ △野球 都社会人選手権(二時、神宮)△ゴルフアマチュア東西対抗(八時、埼玉狭山)△競馬 川崎(正午)

続 情炎の千代田城（172）

岩崎栄　寺本忠雄画

[illegible]

…使って捜がさせてみよう…て居りました。で、それ…にございますので」…もともと、神君（徳川家…）江戸城御築造以前の地元、…村に祀られてあったもの。…造築につき、この千代田村…あの小伝馬町に移したる…自然と稲荷社もまた一緒に…したらしうござるが、その千代田稲荷のみが、いかな…かは存ぜねど、常盤橋に…更にまた転じて渋谷村宮…すこし北に入ったあたりに…れて、今日に及ぶと聞いて…村の、宮益坂でござります…す」

「…りがとう存じました。それ…速に代参をたてゝお詣り致…しょう」

「…がよろしうござろう。さてこれで失礼を仕ります」

…かけてまた、もう一度座に直り、

「長井半六氏の件にござるが、くれぐれもよろしく願い上げます」

と低頭した。

「こゝろえて居ります」

絵島が明るい声で強く頷くのを見て、交竹院は元気よく出て行った。

絵島はこれを見送ったあとで、すぐさま中老の梅山に命じ、渋谷村宮益坂下へ稲荷詣りに遣った。油揚げに赤飯を用意させて—。

あのキツネは、何かの前兆ででもと、たゞいまふっと思い当りまして…」

放火を教えてくれたと、深く感動しているので、そのことはわざといわずに、こうした問い方をしてみるのだった。

「先ず、稲荷は稲が生る、稲生りのことゝ存ずるが、これは要するに、保食の神（宇賀魂）すなわち生食の神でござろうな。それから狐でござるが、これは昔の学者どもでは、キツ或はクツと響いて居りますな。たゞキツ、またはクツであって、ネは尊称して付けたものらしうござる。すなわち稲荷神の使と信じられるところから、ネの尊呼をつけて居りましてな、それが今日一ぱんの名となったものだと存じますな」

「あゝさようでござりますか。なるほど、いかにもよくわかりましてござりまするが、ところでこゝに、当城内のどこぞに、稲荷さまをお祀りしてあるところは—と、わたくし昨夜来考えてみまするが千代田稲荷と申すことは、わたくし幼少から耳に致しますもの—その祠がどこにありますものやら—当城内にはござりませぬように存じます」

「あゝそれなれば、てまえ存じて居ります」

「まァ！ 御存じにいらせられますか。実は、今日たゞいまからで…

低気圧帯の歌舞伎
今度は吉右衛門劇団
歌右衛門、勘三郎に内部の批判高まる
東宝歌舞伎も一波乱か

一日に初日をあけた東宝劇場は連日もの凄い人気を呼んでいる。これに力を得た東宝では歌舞伎興行にますます自信を得たようだ。問題の鴈治郎も東宝へ走る公算が強くなってきたともいわれ、またみすみす儲かるのに…というところから表看板にした「一部興行」の線も崩れかけているようだ。こういったところから、いま出演中の吉右衛門劇団内部ではいろいろと不満の声もくすぶっているようで、さらにヒョウタンから駒が飛びだすこともあるんじゃなかろうかと成行が注目されている。

五月末、松竹に当分休演の爆弾申入れをした中村鴈治郎は先月二十二日には追っかぶせるように関西歌舞伎俳優協会々長の市川寿海に脱退届をだした。一説によれば、このとき鴈治郎は寿海から「役者を辞めるならいいが、もし関西でまた舞台に立つ気があるのだったらお困りになるんじゃありませんか」と説かれた。すると彼は「ご尤です」と脱退届を引っこめたという。これを聞いた簑助や仁左衛門は「寿海さんは人が好すぎる」と口惜しがったといわれる。その反面、これで彼が松竹に復帰する意思のないことがはっきりしたとして、関西歌舞伎の団結が強化されると簑助たちは張切っている。また「鴈治郎さんがこうまで強気にでている裏には必ず小林一三東宝社長がついていますよ」と過日上京した関西歌舞伎の某優は語っており、早ければ秋には大阪の東宝系劇場に出演するのではないかともいわれ、息子の扇雀の進退とともに注目されている。

話題の中心である東宝劇場では初日昼の部公演が一時間半以上ズレたため夜の部最後の「帰って来た男」が上演不能となり小林社長が花道から登場、長谷川たちとお詫びの挨拶をした際「ご迷惑をかけたので、こん晩のお客は興行中いつでも入場できるようにしたい」と一席やり関係者から「さすがの商売名人も余り嬉しくて、ついソロバンを忘れたんだろう」と評された。このめでたい幸先きに気をよくした東宝が、さらに第二第三弾と松竹の鼻をアカす秘策を練っていることは推測されるところ。またこの大入りに気をよくして東宝は一ヵ月日延べしたい腹だったが、長谷川と契約中の大映がウンといわぬため一応は折れた。だが、二日か三日の日延べは強行する模様である。これに加えて、旗ジルシに掲げた「一部興行」＝土・日マチネー＝の線も崩れる可能性がでてきており、後半には土・日以外の日にも「二部興行」を数回やることは確実だとみられている。しかしながらこの際には、役者との間に一揉めあることは勿論だ。

こんどの公演にさきだち歌右衛門勘三郎ならびに不参加の幸四郎を除く吉右衛門劇団員の出演は、役者たちが知らぬうちに劇団の「奥役」である小田島主事、根岸支配人と東宝の間でまとめられていたもので、某俳優は「私たちは新聞にでて初めて知った有様です」とフンガイしている。その上、宣伝ポスターや番組にも吉右衛門劇団の名は一切使われておらず、四花形の名だけが大きくでていて、あとは一並びになっており、又五郎、福助ら中堅花形連も大歌舞伎での地位を全く無視されて下座（シタザ）扱いという有様。そこで宗十郎は、体面が保てぬからと出演を拒否してしまった。また勘彌、芝雀も同様の理由で参加せず歌舞伎座の猿之助劇団に参加した。さらに四花形の場合でも長谷川、扇雀の二人の方が歌・勘の名より活字が大きいと問題となったりしたが、とにかくこんどの芝居の座頭は長谷川であることは明白であり、また歌舞伎社会から見ればまだ若年の扇雀が、映画の人気で伝統の力を押しつぶしているとして「芸」と「門閥」を重んじる歌舞伎役者のプライドを手痛く傷つけられていることは否めないようだ。こんなことから根岸、小田島の両奥役と勘三郎、歌右衛門に対する批判が、休演中の宗十郎を中心に又五郎、家橘、福助、芝雀、訥升、高麗蔵らの間に強まっているようで、特に両奥役が公演ギリギリまで病気と称して役者たちとの面会を避けたことには極度にフンガイしてもいるようだ。だが幸四郎だけは単独で映画に出演のため超然と騒ぎの圏外にあり「このことを見越していたんだろう」と評されており、ここにも幸四郎対歌・勘の対立が如実に現れていると関係者たちは見ている。こんなことで、九月には歌舞伎座で吉右衛門の「一周忌追善」興行をやるというのに、とんだ東宝攻勢の波紋で、早くも劇団内部が動揺をみせるに至ったが、これがどう発展するか？ 成行きが興味をあつめている。

長谷川一夫　中村扇雀　中村歌右衛門　中村勘三郎　松本幸四郎　沢村宗十郎　中村又五郎

あまり煽情すぎる
（米上院で問題化した薄衣裳）

○…MGMが十八億円の巨費と二ヵ年の歳月をかけて作ったセックスとスペクタクルの映画「プロディガル」で淫蕩な女サマラに扮するラナ・ターナーの衣裳がいま米上院のキーフォーバー小委員会で検玉にあげられている。何しろ内容自体、男女がふざけたわむれる絹張りの寝所が並んだとんでもない「愛の寺院」が出て来たり、富豪の後宮に殆んど肌のすいてみえるウスモノを着た女たちが現れたりというのだから、少年少女のギャング団、性犯罪に頭をなやましている米国のことゝて、この映画の十代への影響を恐れたのも無理はない。

○…ところで問題のラナ・ターナーの衣裳というのは、胸と腰を宝石と刺繍をほどこした絹地の布っぱしでホンの申しわけ程度に隠したもので、プロダクション・コード（映倫規程）すれすれのところだという。上院内の試写室で映してみたところ、一人の委員（つまり上院議員である紳士どの）が「スクリーンに手をのばしてめくりたいという恐るべき背徳的衝動に駆られる瞬間を持った」ほどであるから、これはとんでもないと騒ぎ出したもの。

○—そこでMGM製作部長ドーレ・シァリー氏が参考人に召喚されたりという仕儀にまで発展し、最終結論はまだ出ていない。

【写真はその衣裳に着替える前脚にドーランを塗ってもらうターナー（右）】

土曜サロン　おしゃれの手帖
山本富士子

子供のころ—大晦日に黒っぽい地味な銘仙の着物に清潔な白い衿を細く出して糊の利いた真白なエプロンをつけ、忙しく立ち働いていた母の姿を幼な心に本当に美しいと思いました。そんな母にまつわりついては、丁寧に紙に包まれた赤い塗りのお膳の出て来るのを「これ富士子のおじェん？」と喜んだことも胸が痛くなるほど、懐しい思い出の一つです。

その母も近ごろは私たちの一年一年が比例したように、あんなに黒かった髪にも白いものが目立つようになって来ました。細かった体もすっかり脂肪がつき、堂々とした中年の貫録がついて来ました。「富士子、ママも美容体操しようかしら。縄飛びが一番いゝらしいじゃないの」といって四、五日前から始めたらしく、ある朝、ひさしぶりのお休みで、のうのうと朝寝坊を楽しんでいた私は、どさっというすさまじい物音にせっかくの安眠を妨げられてしまいました。何だろうと、まだ開け切らない眼をパチパチして階下へ降りて行った私は苦しげに喘ぎながら廊下で縄飛びをしている母を発見して、しばし可笑しくてお腹をかゝえて笑っているうちに、チャンとしたリズムを持って、その音が聞こえて来るのです。そしてときどき一定の間隔を破ってつまずくような音も聞こえて来るのです。

母はときどき私の姉と間違えられては嬉しいような恥しいような苦笑を洩らしています。冬、お客様のある夕方など、着物に着替えた上に白いエプロンをつけて、手料理を作る母の姿に、ちゃいました。「富士子、十回も飛ぶともう駄目なのよ。でもこれから毎日やるうちにきっと長く続けられるわ」と母は若々しく笑いました。

幼い日、美しかった大晦日の母の姿の思い出がオーバラップして来ます。それは十何年と過ぎ去ったいまでも変らなく美しいと思う母の姿であり、私の知っているもっとも美しい女の姿なんです。

◇

お友達と行くハイキングには軽快なスラックスにシャツブラウス。それは自然の中に喜々と活動的な洋服の生活の中で、ひっそりと静かに憩う姿はどんなに素敵でしょう。

◇

白い冷い肌にシックな黒ずくめ。そんな貴女が映画館の一隅に、うす暗い喫茶店のボックスで一夕、ボーイフレンドを招くとたわむれる貴女をどんなに愛らしくみせることでしょう。

◇

その折黒っぽいお召の和服で迎え「いらっしゃい」といってご覧なさい。そして、白いエプロン姿も甲斐々々しく、貴女の心づくしの手料理を作って上げてご覧なさい。世の男性は幼い日の母に対するような郷愁を感じ、素晴しくきれいでいじらしい貴女を発見することでしょう。

◇

そんな三つのものを兼ねそなえた女性、それが私の理想の女性です。細かく神経の行届いた心の使い方が、愛らしいおしゃれ、エレガントなおしゃれ、そしてやさしいおしゃれとなって貴女を美しく見せること必定です。

スターのいる町
浜町界隈（その一）

土地っ娘に怒られる
映画スターになった勝新太郎
スマートボールの名人？井上大助

浜町河岸から右手にそれた玄冶店の一角に、ひときわ目につく粋な住居にいたのがお富さんだが、それも今は昔。この界隈にはキャデラックが走り回り、ルノーが横町を通り抜け明治座のノボリがパタパタと風に音をたてているといったふうに、どこにでもある当り前の東京の街になってしまった。もっとも土地の姐さん連でさえお座敷で三味線を持つより「ヘイ、マンボ」なんていっている方が好きな世の中なのだからこれも致し方なかろうというもの。

さて三味線といえばこの浜町二丁目にいるのが杵屋勝丸で、専ら浜町娘のアコガレの的になっている。といってピーンとこなければ勝丸こと大映の新人勝新太郎といえばハハーンと判るだろう。とにかく彼はもともと長谷川一夫と川路竜子を合せて二で割ったような美男子なのでこの近所では大変な人気だった。それが三味線を刀に代えて映画入りしたとたん、こんどは全国的な人気スターの一人になったから浜町娘が怒ったもんだ。つまり「三味線をやっていればアタイ達の勝丸さんなのに、勝新太郎になったらよそのヒトに取られちゃう」てなことらしい。そこで彼すっかり恐縮して町内へ挨拶に回ったという話である。

勝新太郎

この同じ町内で彼の家から十歩程先にあるのが新派の藤村秀夫の家で、普段はヒッソリしているが夜になると時々若い連中の声がきこえてくる。これは小堀明男、花柳武始など新派二世組がご機嫌伺いにきた時のことなんだそうだ。そういえばこの界隈は昔から新派の縄張りで市川紅梅、市川すみれなど明治座横通りの喫茶店「T」でお茶を飲んだり、ケーキを食べたりしている。そこでここの女の子にきいてみると「紅梅さんは朝から見える時があるんですよ。先日も冗談にカウンターのなかに入ってコーヒーかなんか作ってたら、お客さんが見えましてね"オッ、紅梅によく似てるな"ですって…とってもキサクで好い人なの」などと評判が大変よろしい。

藤村秀夫

ところで商売というと、このあたりのスマートボール屋に子役スターあがりの井上大助が顔を出して儲けたという話がある。彼の家はこの近くの越前堀なのだが時々この界隈にも出没している。そして「ポカンゴロゴロ」という例のスマートボールなど楽しむわけなのだが、彼氏は余りスマートでもないくせに、なかなかスマートが上手らしい。そして何と三時間でピースを二十個がとこ儲けたというのだ。あんなコンキのいる遊びでこれだけ賞品を取るのだから余程退屈もしていたし根気もよかったのだろう。だからきっと彼のことを撮影所では大助といわず、井上退屈といっているのだろう。

市川紅梅

【次回は来週土曜日、浜町界隈その二】

新人山脈
日比野恵子（映画）

山本富士子についで二十七年度のミス・ニッポンになったのだが、この間まで鶴見でオフィス勤めという地味な生活をしていた。そのくせ誰にでもいいたいことはハキハキいうタチというから、兄と弟に挟まれた一人娘特有の強情さを多分に持合せているわけだ。といってこの彼女なかなか利口だからそんなところは少しも見せない。お愛想も良い。三年間やった重役秘書という職業をうまくソシャクして身についた教養にしちゃったわけだ。だから、こんどは新東宝と契約して、とたんに阿部豊監督の「花真珠」に主演という金星をつかんだのだが、ご本人は一向あわててもいない。「とてもこわい。リハーサルもしてないからどうなることかと思ってドキドキしてるの」と口ではいうが、案外顔は平チャラで落つきはらっている。なるほどこれがミス・ニッポンの貫録というものかもしれない。これから女学校の同級生だった岸恵子、小園蓉子のあとを追いはじめるわけである。現住所＝横浜市鶴見区馬場町二四五

ステージショウ
生かされたモンタージュ
SKD「夏のおどり」＝（国際劇場）

▽…吉例第二十一回の「夏のおどり」全十四景。今回は飛鳥亮の構成・演出だが、従来の「おどり物」に比べてコケおどしのハッタリ性が少なく、夏らしく淡々と構成されている代りにこれといった強い印象的なシーンもないといったところ。しいてあげれば「インディアン・ドラム」（振付松見登）の群舞の盛上げと「サーカス・シァター」のエキゾチシズムぐらいか。一番いただけるのは「闇に描く」の冒頭、画家の持つキャンバスの画面がそのままモンタージュされて舞台面となるところ。こうしたモンタージュの手法はもっともっとレビューの舞台に活用されるべきだ。

▽…プロローグとフィナーレに自慢の大噴水を見せるが、水音が涼感を呼んでまずは効果十分。ただし前宣伝であおり立てたほどでないのは、机上のプランと実際面で計算の食違いがあったのだろう。作品十二番を見せるアトミック・ガールズ（振付新井重美）は衣裳（所治海）の良さにも助けられて快調。日舞（振付西崎緑）は川路竜子を見せるに止まったという感じだ。

▽…清水崑が装置と衣裳を受持った「河童」は結構笑わせるが、演技が全部有島一郎（演技指導）になってしまうのは考えもの。個人では磯野千鳥が久しぶりに「インディアン・ドラム」で実力を発揮しているのが第一。南条名美に代って「ジャスト・サマー」のシンをつとめる千草かほる、「サーカス・シァター」のオットセイの踊り（越路百合香、故里彌生ら八名）なども良く、馬のダンシングチームは日劇で使い古した曲（サヤバリオネグラ）を使って演奏も悪いので失敗。サラッと軽い気持ちで見ていれば結構たのしい一時間二十分である。九月五日まで。（橋）

はと笛

○…新協劇団「明るい空」の初日、夫の中野重治と一緒に見に来た原泉、何しろ五月には同じ新協の「鯢変」に客演しただけにひとごとならず気がもめるものとみえ、上演中も暑い客席で、そこはやり戦前派、夫を懸命に扇子であおいでやりながら「あら、とちったわ」とか「カットの仕方が悪いわね」とかヤキモキしていたが—

○…そのうち、三幕目でいつもながら威勢のいい相生千恵子が上手に消える前ドアをバタンで棚の小道具をひっくり返すやら、高橋正夫のライターが火がつかなくなるやらにいたって、遂にガマンできなくなったか、ご亭主を放り出して楽屋に現れ、注文やら苦言やらを一くさり。挙句に四幕目はずっと舞台の袖で立ち見とは熱心なこと。

【写真は中野重治】

都々逸　石井きんざ選

いっそ切れたらサッパリしよう　他人にゃ判らぬ訳がある　文京・木村いつ秋

まま子悲しや昨日も今日も　やさしい母の夢ばかり　中野・相崎六華坊

待つたが帰ると伝言板に　書いて淋しい待ちぼうけ　国分寺・佐藤千恵子

編んでるネクタイ彼氏のかいと　図星をさゝれて染める頬　荒川・松永志ん

筆に委かせて思いのたけを　優しく封じて来た手紙　北・浜野浮舟

◇

あきりや男は勝手な者で　逃げる気逢わぬ気別れる気　選者

おしゃべり横丁

脅迫

叱ると死んじゃうぞ。

—悪たれっ子

内外映画演劇案内

☆東宝直営館御案内☆　☆東亜興行☆　東洋系　☆楽天地系☆（63）3121　☆武蔵野チェーン☆　☆松竹系映画御案内☆　☆（三和興行系）☆

[illegible]